



せん げん やま

# 浅間山

可見市立東可見中学校  
令和6年4月23日発行

## 令和6年度のスタートの姿から

教頭 工藤敏郎

令和6年度がスタートして、2週間ほどしか経っていませんが、東可見中学校では様々な活動の中で、「自律 共生 創造」の姿をたくさん示しています。その一部を紹介します。

### 【自律】

生徒会が中心となって、リモートで体育大会の団決めが行われました。「各クラスの代表がくじを引き、団の色を決める」のですが、生徒会役員たちは「全校生徒がワクワクする活動にしたい」という願いをもち、アイデアと工夫のある活動を創り出した姿に、自律の心を感じました。（団決め後に、紙吹雪をサッと片づける姿も、自律の姿でした。）



### 【共生】

部活動見学や仮入部では、2, 3年生たちが、「やってみせるから、ここをよく見ておいてね。」「そうそう、それで大丈夫だよ。」など、積極的に新入生とコミュニケーションをとっていました。

人間関係ができていない家族や友達ではない人に自分から関わり、新たな関係を構築することは大人になっても緊張します。新しい仲間たちとの出会いは、「共に生きる力」を育む機会ですね。



### 【創造】

入学式準備には、式場の椅子を並べたり、1年教室を掃除したり、というイメージがあります。

東可見中でも当然そうした活動を行います。2, 3年生が細部まで丁寧に準備する姿は、「式に参列しない分、歓迎の気持ちを込めて会場を創り上げよう」という創造性を感じさせるものでした。



このような生徒たちの中学校での姿を、今年度も校報やホームページで積極的に紹介していきます。

また、昨年度も地域の方々から、「東可見中の生徒たちが地域のボランティアに参加してくれて、助かっています。」などのお言葉をいただき、大変励みとなりました。

今年度も皆様の温かい見届けを、よろしくお願いいたします。

